

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじんちゅうぶふいはーもにーこうきょうがくだん 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL https://chubu-phil.com/
代表者職・氏名	理事長 加藤隆久	
制作団体所在地	〒 485-0041 最寄り駅(バス停) 名鉄 小牧駅 愛知県小牧市小牧二丁目107番地 小牧市市民会館内	
電話番号	0568-43-4333	
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじんちゅうぶふいはーもにーこうきょうがくだん 特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL https://chubu-phil.com/
代表者職・氏名	理事長 加藤隆久	
公演団体所在地	〒 485-0041 最寄り駅(バス停) 名鉄 小牧駅 愛知県小牧市小牧二丁目107番地 小牧市市民会館内	
制作団体 設立年月	2000年10月	
制作団体組織	役職員 会長:西村義明 理事長:加藤隆久 常務理事:上村和久ほか2名 常任理事:赤堀裕之史,岩田徹ほか5名 理事:稲山達也,佐藤大五郎ほか6名	団体構成員及び加入条件等 芸術監督・首席指揮者:秋山和慶 首席指揮者:飯森 範親 常任客演コンサートマスター:平光真彌 楽団 員:41名(一般公募オーディションによる) 事務局:9名
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名 演奏事業部長 岡田進司 演奏事業部 乾 光季
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名 事務局長 布藤和志
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@chubu-phil.com	

<p>制作団体沿革</p>	<p>2000年10月「小牧市交響楽団」として設立。現芸術監督・常任指揮者秋山和慶氏の協力のもとに活動を開始。2006年12月「中部フィルハーモニー管弦楽団」と改称。拠点は愛知県小牧市(人口15万人)で、県庁所在地ではない地方都市を本拠地とする、全国的にも例の少ないオーケストラ。小牧市、地元企業などの支援を受け、市内の幼稚園・保育園から中学校まで、毎年音楽鑑賞会を実施。地域文化の発展に寄与するとともに、名古屋市、岐阜市、松阪市(三重県)などで定期的に公演を行い、活動の範囲を中部地方一円まで広げている。</p> <p>2009年2月、愛知県芸術選奨文化新人賞受賞。2015年5月、創立15周年を記念し、マーラー:交響曲第2番「復活」を秋山和慶氏の指揮で演奏し、高い評価を得る。2018年より、NAGOYAシリーズ3回、KOMAKIシリーズ2回、計5回の定期演奏会を、2021年からはKOMAKIシリーズを3回に増やし、特別公演を含む年間10回の自主公演を行っている。</p> <p>2021年、コロナ禍で延期されていた創立20周年記念コンサートを秋山和慶氏の指揮で開催、成功に導いた。</p> <p>2020年より、秋山和慶氏を芸術監督・常任指揮者、飯森範親氏を首席客演指揮者に活動を続けている。</p>	
<p>学校等における公演実績</p>	<p>■小牧市内音楽教室(2000年度～) 2年～3年で全園・全校を巡回 幼稚園・保育園…32園 小学校…16校 中学校…9校</p> <p>■文化庁学校公演 平成21年度～平成30年度…「巡回公演」 令和2年度～令和5年度…「巡回公演」 令和2年度…「創出事業」 令和3年度…「体験支援事業」 令和4年度…「体験再興事業」</p>	
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>文化庁「子供のための巡回公演」による実績</p> <p>平成22年度 ①岩手県立盛岡みたけ支援学校 ②北海道立白糠養護学校</p> <p>平成23年度 鹿児島県立鹿児島聾学校</p> <p>平成29年度 滋賀県立三雲養護学校</p> <p>令和3年度 三重県立松阪あゆみ特別支援学校 ※コロナ禍により、配信公演として実施</p>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/iGmhDabfwSM</p>	
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID: PW:</p>	<p> </p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人中部フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	オーケストラと一緒に音楽体感！		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1 オッフェンバック:喜歌劇「天国と地獄」序曲から“カンカン”(3')</p> <p>2 楽器紹介(10')</p> <p>3 プラームス:ハンガリー舞曲第5番(3')</p> <p>4 【指揮者体験コーナー】プラームス:ハンガリー舞曲第5番(7')</p> <p>5 【オーケストラの中で聴いてみよう】 ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章(5')</p> <p>楽器体験コーナー 兼 休憩(20')</p> <p>6 ビゼー:アルルの女組曲より「ファランドール」(3')</p> <p>7 【クイズコーナー】(5')</p> <p>(リムスキー・コルサコフ:熊蜂の飛行・アンダーソン:踊る子猫)</p> <p>8 【共演コーナー】(5')</p> <p><合唱共演>ビリーブ・世界が一つになるまでに(※選択)</p> <p>もしくは <ご当地共演>各地域で伝統のある民謡やお話しとオーケストラの共演</p> <p>9 【メインプログラム】エルガー:威風堂々第1番(7')</p> <p>10 校歌(3')</p> <p>11 En.バロック・ホーダウン(2')</p>		
	公演時間 90 分		
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>児童・生徒がオーケストラについて身近に感じて興味を持ち、一緒に参加しながら音楽を楽しむ、他にない鑑賞スタイルを提供します。</p> <p>冒頭は誰もが耳にしたことのある、運動会でよく流れている楽曲 オッフェンバック:喜歌劇「天国と地獄」序曲から“カンカン”でスタートします。</p> <p>次にワークショップで説明したオーケストラの中の楽器紹介、各楽器の得意とする動き、音色を聴きなじみのある楽曲で1つ1つ紹介していきます。</p> <p>全ての楽器の音色を聴いた後、1つ1つの楽器が合わさったらどんな音がするのかプラームス:ハンガリー舞曲第5番で聴いていただきます。聴き終わった後、指揮者体験コーナーを行います。先ずは指揮者による全児童生徒に指揮のレクチャーを行い、その後代表の児童生徒を数名選出して実際にオーケストラの前で指揮していただきます。</p> <p>前半最後の曲はジャジャジャジャンで知られている最も有名な交響曲、ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章をオーケストラの中でお聴きいただけます。※参考写真あり</p> <p>休憩中に楽器体験コーナーのブースを作り、ヴァイオリン、フルート、トランペット、打楽器の体験を行います。ヴァイオリンは小さな児童にも持てるよう分数楽器を用意し、オーケストラ奏者がお手伝いします。※参考写真あり</p> <p>後半最初の曲は打楽器の活躍するビゼー:アルルの女組曲より「ファランドール」でスタート。</p> <p>生き物に関する3曲の小品(リムスキー・コルサコフ:熊蜂の飛行・アンダーソン:踊る子猫)を例に、音楽の持つ表現力の豊かさを感じ取ります。3つの大きなイラストを用意し、正解の生き物を当てるクイズコーナー。選択したものが間違っていたとしても、想像力をはたらかせ自分自身で感じ取ることはとても大事であることを伝えます。</p> <p>【共演コーナー】では<合唱共演>と<ご当地共演>のどちらかをお選びいただけます。 <ご当地共演>は各地域で伝統のある民謡やお話しとオーケストラで共演することができ、地元への愛着とオーケストラの融合を体験できます。</p> <p>【メインプログラム】エルガー:威風堂々第1番テレビの番組やCMでも使われているこの楽曲を演奏する前に、楽曲を解剖して、ベースとなる音、主旋律の音、内声を順番に聴いていただきます。どの音もこの曲に必要なものだという事を伝えます。</p>		

演目選択理由	<p>ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 緩急のある作品であり、指揮者体験をするにあたり、最も児童生徒が自由にテンポを作ることができます。</p> <p>ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章 交響曲を演奏する団体である交響楽団、有名なジャジャジャジャーンの動機を繰り返し見つける楽しさを間近で体験できます。</p> <p>リムスキー・コルサコフ:熊蜂の飛行 熊蜂の翅音、飛んでいるときの動作を曲中找到することができます。</p> <p>アンダーソン:踊る子猫 ヴァイオリンのまるで猫の鳴き声の様な音を聴いて探すことができます。</p> <p>エルガー:威風堂々第1番 壮大なオーケストレーションが特徴ともいえるこの楽曲は、主旋律以外の楽器がどのように動いているのかを事前に説明することで楽曲への興味を促すことができます。</p>							
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>指揮者体験コーナー ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章オーケストラの中で聴いてみよう 楽器体験コーナー クイズコーナー 合唱共演もしくはご当地共演 校歌をオーケストラ伴奏で斉唱</p>							
出演者	<p>指揮/鈴木織衛or松井慶太or喜古恵理香or碓山隆一郎or石崎真弥奈 司会・歌/奥村育子or加藤恵利子or田川えり 管弦楽/中部フィルハーモニー交響楽団 管打2121-2210, 1Perc, 5str(4/3/2/2/1) (24)</p>							
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	<p>出演者: 26 名 スタッフ: 8 名 <hr/>合 計: 34 名</p>			運搬		<p>積載量: 2 t 車 長: 2t 6.43 m 台 数: 2 台</p>		
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	ワークショップ	GP	上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00~9:00	10:00~11:10	11:30~12:00	13:30~15:00	15分	15:00~16:30	16:30
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。								
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月	10月			
	4日	4日	0日	8日	8日			
	11月	12月	1月	計		36日		
	4日	4日	4日					
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。								
児童・生徒の 参加可能人数	本公演				共演人数目安	学校の希望に沿います		
					鑑賞人数目安	学校の希望に沿います		



岐阜県郡上踊り 春駒

音楽クイズ ○×
正解発表に一喜一憂！

ご当地共演
地域の民謡や踊りなどで共演



音楽クイズ
正解発表に一喜一憂○×



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



楽器体験コーナー
オーケストラの楽器を

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



オーケストラの中で聴いてみよう
オーケストラの演奏を実際に隣の席などで聴ける！

※別添あり

リンク先

No.2

【公演団体名 特定非営利活動法人中部フィルハーモニー交響楽団】

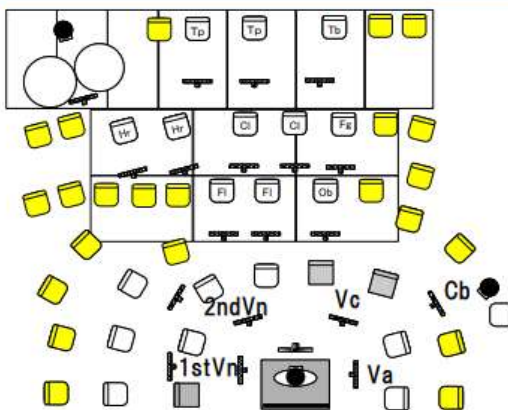
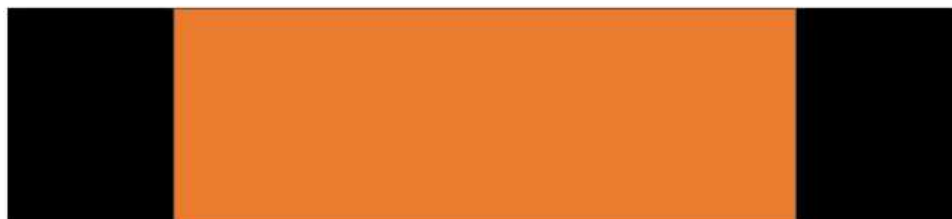


オケ雑壇

舞台には段差を付けて奥の管楽器も見やすく👁️

オーケストラの中で聴いてみよう！

項目内容



- ・黄色で塗りつぶしの椅子が児童・生徒に座っていただく場所です。
- ・図面上は23人ですが、人数を増やすことも可能です。

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	500名以内
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>①オーケストラの紹介とワークショップメンバーの自己紹介</p> <p>②オーケストラとは(オーケストラで使用される楽器についても説明) オーケストラは管楽器、弦楽器、打楽器によって構成されていること、管楽器とは何かなどイラスト付きのプリントを用いて説明していきます。</p> <p>③ワークショップメンバーによるソロ演奏</p> <p>④楽器で実験コーナー(素材や大きさが変わると出てくる音はどう変化するのか) ホースホルン、ホーストランペットのバルを紙コップ、プラスチック、木材など様々な素材を付けて聴き比べをします。ホースの長さも変えて、長くなるとどう変化するのか聞き比べます。</p> <p>⑤地図で見る演奏会の作曲家たち 本公演で出てくる作曲家はどの国の人達なのか、どの国をモチーフにして作曲したのか、世界地図を見ながら伝えていきます。</p> <p>⑥共演曲の練習</p> <p>⑦質問コーナー</p>		
ワークショップの ねらい	<p>ワークショップの目的は本公演に臨む前の予備知識を得る機会であり、事前のワークショップにより本公演への期待と興味を引き出すため、以下の点を重視。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オーケストラとは何か、弦楽器、管楽器、打楽器の集まりであること、個々の楽器の特徴や音色について本物の楽器を見せながら解説。本公演でのオーケストラ体験への期待を高める。 ●楽器は何で作られているのか、もしその素材を変えたらどのように変化するのか。身近にあるホースやジョウゴなどを代用し視覚的にも興味を促す。 ●オーケストラメンバーへの素朴な疑問、何歳から？1日何時間練習？楽器を選んだ理由は？など、中々聴くことができない質問を通して交流しながら、団員と児童との隔たりを狭くする。 ●遠く離れた国の楽曲が歴史を超えて今なお演奏されていることを伝え、楽曲並びに作曲家たちへの興味を促す。 		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>特別支援学校等の場合は、当該校の特性に合わせて構成を変えたり、学年を限定するなど、柔軟な対応が可能。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 特定非営利活動法人中部フィルハーモニー交響楽団】

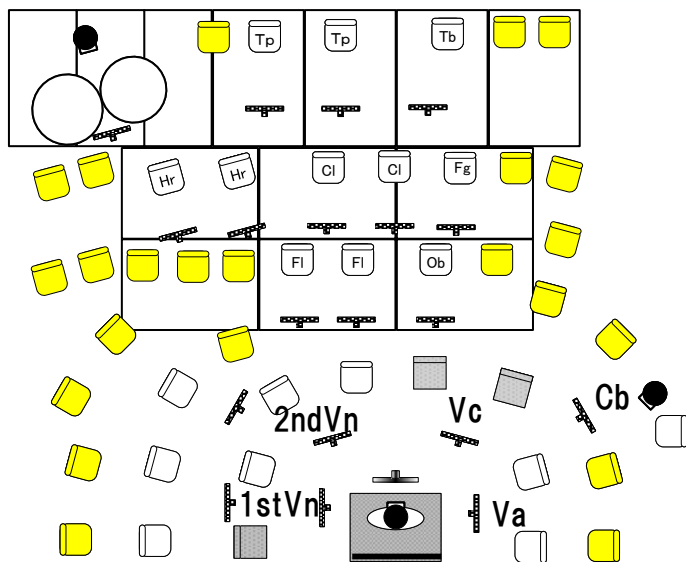
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>オーケストラの魅力、迫力を生で聴いて感じてほしい、そして演奏者、スタッフと共に体験して楽しんでほしいという願いを込めてプログラムを組みました。 感受性豊かな子供たちの感性を刺激し、クラシック音楽というジャンルは堅苦しいものでも、遠い世界のものでもないことを知ってほしいと思います。 全力で好きなことを仕事にしている大人がいるという事を子供たちにオーケストラの音楽を通じて伝えることができるように努力を惜しみません。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>本来の鑑賞会ですと、子供たちにとって本公演は決して短い時間ではなく、集中力がきれたり興味関心がなくなることがあるかもしれません。体験コーナーや実際に体験する場を多く提供しあっという間に楽しい時間が終わったね、と感じて頂けるよう以下の様な進行で演奏会を進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップでの説明を思い出す司会進行 ●プリントで見るとも実物を見やすいように段組みをする ●指揮者体験コーナーでは代表者だけではなく、最初に全児童生徒にレクチャーをする ●客席からでは感じることのできない間近での鑑賞を経験させる(オーケストラの中で聴いてみよう) ●実際に楽器に触れて体験をする(楽器体験コーナー) ●オーケストラと一緒に楽しむ工夫をする(共演コーナー) ●クイズでは3択のパネルを用いて視覚的にも楽しいものにする ●メインの楽曲の分解した解説をし、通して聴く間楽器の役割や、教えたパートを探してみる興味を促す(威風堂々楽曲解剖) <p>公演前には必ず下見に伺い、先生方と綿密な打ち合わせを行うことで、セッティング～リハーサル～児童入場～公演～退場、バラシまで、円滑に進められるよう、配慮しています。 また、共演コーナー(合唱共演、ご当地共演)が学校様の負担にならないよう臨機応変に対応します。</p>
--	---

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 特定非営利活動法人中部フィルハーモニー交響楽団】

<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p>① 離島・へき地等における公演実績</p> <p>2011/12/21鹿児島県熊毛郡 屋久島町立八幡小学校</p> <p>2012/12/4宮城県柴田郡 村田町立村田第二中学校</p> <p>2013/1/21秋田県男鹿市 男鹿市立北陽小学校</p> <p>2013/11/13高知県高岡郡 佐川町立佐川小学校</p> <p>2015/10/13長崎県壱岐市 壱岐市立石田小学校</p> <p>2015/10/14長崎県対馬市 対馬市立美津島北部小学校</p> <p>2016/9/27島根県江津市 江津市立高角小学校</p> <p>2017/7/6奈良県奈良市 十津川村立十津川第一小学校</p> <p>2018/11/12山梨県上野原市 上野原市立秋山小学校</p> <p>2020/10/23愛知県知多郡 美浜町立河和南部小学校</p> <p>2021/11/9京都府京丹後市 京丹後市立網野南小学校</p> <p>2022/11/17秋田県北秋田市 北秋田市立阿仁合小学校</p> <p>② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p>公共交通機関がない場所や、大型バスが入れない土地にはマイクロバスを使用、その土地の先生方の意見を参考にさせて頂き、現地に迷惑をかけない事前準備を怠りません。フルオーケストラとは違った魅力を最大限に伝えるべく以下の様な準備をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●当団専属のアレンジャーによる編曲で楽曲の質を保つ ●段組みを都度行い、立体的なサウンドを提供する <p>③ C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</p> <p>出演料を押さえるべく最小限の編成でオーケストラのサウンドを提供します。体育館にある設備とオーケストラにあるものを工夫して体育館公演の環境を整えます。必要最小限のスタッフで随行します。</p>
----------------------------	---

オーケストラの中で聴いてみよう！



- ・黄色で塗りつぶしの椅子が児童・生徒に座っていただく場所です。
- ・図面上は23人ですが、人数を増やすことも可能です。